

① ① 直 通  
② ② 赤 字  
③ ③ 北 方

④ ④ 夜 中  
⑤ ⑤ 谷 間

② ① ① ふ た 葉  
② ② 本 葉

② ア  
③ ④ イ  
⑤ ⑤ ア  
④ ④ 形

⑤ ア  
② ②  
① イ  
② ②  
⑤ ウ  
② ②

③ ① エ  
② ② ア  
③ ③ イ  
⑥ ⑥ ウ

③ ト リ 小 屋  
④ ア

⑤ ケ イ な り  
⑥ エ

⑦ ウ

※5 完答

配 点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<計>100点	

① 漢字の書きとり問題は小学校二年生までに学習したものを出题している。①「直通」は「直接」「通じている」ということである。②「赤字」は入ってくるお金より出ていくお金のほうが多いことである。③わたり鳥は北から来て北に去るか、南から来て南に去るものが代表的である。④「夜」という字の右下が一画ぬけないように気をつけてほしい。⑤「谷間」は「谷のなか」のことである。

②

- 1 「二枚の葉っぱ」は次の行で「最初に出てきた葉っぱ」と言い換えられ、さらに次の段落で「最初に出てきた葉っぱを『ふた葉』、その後に出てきた葉っぱを『本葉』という」と説明されている。表現が変わっても同じものをさしていることばであることに注意しながら、つながりを大事にして読む力をつけていこう。
- 2 「よくないもの」をえらぶ問題であることに気をつけよう。——線③の一文を読むと、「種を水につけておくと、水を吸ってふくらみ、かたい皮もやわらかくなってきます」となっている。したがって、水を吸わせてやわらかくすることが目的だと考えられる。つづけて読むと、「そこで、カッターで切つて種の中をのぞいてみると」とあるので、水を吸わせてやわらかくしたのは、切つて種の中を見るためだということがわかる。
- 3 ④は、栄養をたくわえているふた葉を「燃料タンク」と言いかえているところである。⑤は、本葉とふた葉のちがいを説明しているところである。
- 4 「⑥がちがう」の⑥にはいることばなので、「ちがう」について書かれているところに答えがあるかもしれない。そう考えてさがすと、本文のはじめから四行めに「形がぜんぜんちがいます」とあるのが見つかる。が、そもそもきちんと文章を読めていけば、そういうさがし方をしなくても、この文章が、本文五〜六行めの「どうして形がちがうのでしょうか」という問いかけについて書かれた文章であることがわかっていたはずである。
- 5 ア 「赤ちゃん」ということばは本文中に出てくるが、「ふた葉の赤ちゃん」と書かれていた。  
イ カッターで切るのは種の中をしらべるためで、芽を出させるためではない。  
ウ 「ふた葉の中の養分はなくなり……枯れてしまいます」とは書かれているが、ここで枯れるのはふた葉だけである。植物が枯れるのではない。

③

- 1 みみこが小屋から出てきたところで、ケイゾウさんが「ふん、うさぎなんて……」とみみこのことをばかにしている。
- 2 ②はひざしが照りつけるようす、つまり強いひざしのようすをあらわしたことばである。「かんかん照り」ということばもあるのでおぼえておこう。③は、その強いひざしをうけたケイゾウさんのようすである。直後で「とても暑い」とケイゾウさんが言っていることからもうそうなようすがわかる。⑥もつらそうなようすが、こちらは、みみこが力なく首をのばすようすである。
- 3 ケイゾウさんがどこから出てきたかということである。
- 4 ケイゾウさんは羽を「ばったばった」「ばたつかせ」て、じぶんをおおいでいる。「しゃもじ」はごはんをおちやわんによそうときに使うものである。
- 5 「そこにいる」のはみみこなので、みみこがどこにいるかを読みとる。きちんとようすを思いうかべながら読むことができなければ答えられるだろう。
- 6 「いじわるな気持ちになって」とあるので、みみこからはなれることはみみこにたいするいじわるになるのである。ただし、じぶんからはなれているのだから「みみこを追いはらう」は合わない。
- 7 みみこがすべりだいの下にもぐりこんだことに気づいていないのである。そこで「おれの、風だ」と言いながら走りつづけている。まだみみこがついてきていると思つて、みみこからはなれようとしているのである。